

中央ながかみ保育園

年度 入園・進級のつどい

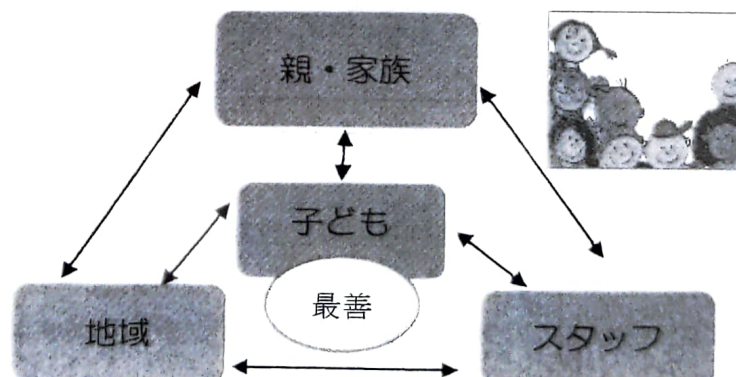
保育の理念

世代を超えて お互いが必要とされる「昼間の家庭」をめざして

どの子ども、どの大人も一人ひとりの違いを認め、自分に無いものを感じて、
お互いの力を借りたり、出し合うことでより幸せになれる。そんな少し大きな
家が「中央ながかみ保育園」です。

大きな家の大きな家族

中央ながかみ保育園



保育方針

- 「心を育てる教育」 日常的な、人と人との多様なかわりかかっている生活
 - ① 大きい子も小さい子も（異年齢のグループで生活します）
 - ② 障がいのある子も無い子も（どの子も発達のはたらきは一緒です）
 - ③ 豊かな感性を（文化の伝承・四季を堪能・本物に触れる生活、そして高齢者との日常的な交流を大切にします）
 - ④ 作り出す喜びと創造性を（与えられるのではなく、好きな遊び・好きな場所・好きな人を選んで、主体的に行動できる環境）
- 「身体を育てる教育」 身体を動かすこと、食べることも大好きな意欲的な生活
 - ① さくらさくらんぼのリズムが毎日の日課（楽しく動き、全身の俊敏性、バランス感覚など身体能力を養います）
 - ② 園外保育（四季を通じて自然の中に飛び出します）
 - ③ 食べる事が大好き（食べる事は健康な心と体を作ります。また、おいしく食べるため大切なマナーを学びます）
 - ④ 野菜作りとクッキング（自分で作る喜び、幸せを体験します）
- 「環境による教育」 くつろぎ落ち着いた家庭的な雰囲気生活
 - ① 遊びの部屋・食べる部屋・眠る部屋（目的に応じて部屋を使い分けて生活します）
 - ② 生活リズムの確立（大きな家族として環境を共有し、毎日代わらない日課で生活します）
 - ③ 手の届く場所に、気に入ったもの・使いたいものがある（自分でできる事により、心が満たされます）
 - ④ 四季の変化を日常に感じられる（室内外のインテリアに、季節感を感じる雰囲気を大切にします）
- 「人材による教育」 大切な方々と共に過ごす生活
 - ① 保育の専門性とチームワーク（保育の専門性を高め、子どもたちと家族の最善の利益に努めます）
 - ② みんな立派な教育者（お父さんもお母さん・長上苑の高齢者も・異文化を持つ人々も・地域の方や実習生・ボランティアの方等、より多くの関わりから教わります）
 - ③ 保育園の機能を最大限に提供します（保育園児と家族だけではなく、地域の子育て中の家族・子どもたちの幸せを願い支援します）

保育の特色

- 大きな家族として生活の場を共有することで、子ども同士がお互いに影響し合い、共に育ち合う、異年齢グループの生活
- 子どもたちが自由に遊びを選択し、好きな場所で好きな人と思いきり遊ぶことができる、コーナー遊び
- ハンディキャップのある子もいない子も共に生活し、互いに影響を与え合う、インクルージョン